

→ みんなで快適なマンション生活を送りましょう！

エスレート大通ニュース

管理組合

2026年8月26日(水) No.51 発行者：エスレート大通管理組合

■2面につづく。

ホームページ <https://est18s.kei1.org/>

市内のマンション火災で死亡が15人 最も火災が多かった区、中央区76件、次が白石区62件

マンションでの災害は、火災によるものが最も大きな被害をもたらします。そのためエスレート大通管理組合は、定期的に消火器の設置や火災報知器の点検を実施しています。これらは、法的には義務の扱いになります。

今回はその一環として、お住まいのみなさまと一緒に札幌市民防災センターを訪ねてみたいと思います。

ここは、市民が災害を「見て・触れて・体験して」防火・防災を学ぶ体験型施設です。札幌市白石区南郷通6丁目北にあり、2003年3月14日に開館しました。2023年3月には、消火体験・煙避難体験を更新し、学習コーナーも新設されています。この災害体験施設で火災が起きた際の対応を学び、もしものとき当マンションで役に立てたいと思います。

館内では、地震、火災、暴風などを模擬的に体験できるほか、消火方法や煙の中からの避難、災害時の行動などを実践的に学べます。



マンション消防訓練の実施

今回は、「札幌市民防災センター」に行きます。

電話番号:011-868-3535

●開催日時

9月19日(土)午前10時00分

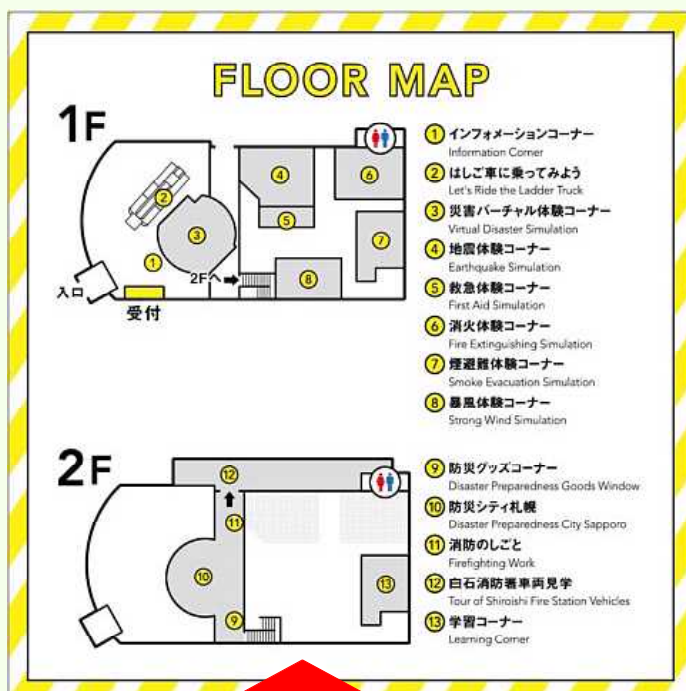
●当マンション入り口前にお集まりください。

●車で市民防災センター(白石区南郷通6丁目北)まで行きます。なお、送迎もします。

●参加申し込み

9月16日(水)まで、管理事務室まで連絡ください。

■体験施設の概要(下図の通り。)



最近の市民防災センター利用状況

この施設は、個人利用だけで年間4万人前後、団体利用を含めると年間5万人を超えるほどの利用があります。特に個人・家族による利用が中心となっています。

また、夏休みなどに個人利用が増え、秋には団体利用が増えるという季節的特徴もあるようです。市民には防災見学・体験学習の場として定着しています。

年度	個人来館者	団体来館者	合計
2023年度	41,382人	15,250人	56,632人
2024年度	38,201人	15,337人	53,538人

最も火災が多かった区 中央区 76件 次いで多かった区 白石区 62件

最近の中央区の火災状況

いまのところ札幌市内で大規模なマンション火災が報道されていません。直近では、8月17日、札幌市中央区のマンションでエアコンの室外機が破裂して出火しています。爆発音と白煙について通報があり、火は約15分後に消し止められ、けが人はいませんでした。消防によると、エアコン交換作業中の室外機の破裂が確認されています。

一方、今年2月には中央区南10条西8丁目の9階建てマンション8階の一室で火災があり、50代の男女2人が死亡しています。火災は約3時間後に消し止められました。

道内の火災発生状況

北海道全体の火災発生状況については、北海道庁が2026年7月分の速報値を公表しています。8月18日に公表した「2026年7月分」の火災発生状況速報によると、

北海道庁「火災発生状況」の5月分までの速報では、2026年1～5月累計は次の通りです。

■火災全体：784件、
内訳は死者：34人、
負傷者：108人【建物火災：476件、住宅火災：267件、住宅火災による死者：29人、住宅火災による負傷者：76人】です。



札幌市消防局の2025年確定統計

「マンション火災」については、札幌市の年次統計ではマンションだけを独立した火災件数として集計していません。住宅火災の内訳として「共同住宅」で区分されています。

札幌市・2025年の火災状況

項目	2025年
火災全体	421件
建物火災	308件
死者	15人
負傷者	94人
焼損棟数	353棟
住宅火災	※共同住宅を含む
最も火災が多かった区	中央区 76件
次いで多かった区	白石区 62件

2025年の火災全体は421件で、2024年の420件から1件増加。一方、死者は19人から15人へ4人減少し、負傷者は86人から94人へ8人増加しています。

また、月別では4月が47件で最多、12月が44件、最少は9月の20件でした。

短信 理事会で室内の火災報知器点検や排水管清掃の実施率が低いことが議論になり、今後は平日に限らず土曜日の実施を検討します。特に居住外のオーナーさんにも働きかけます。マンションの価値や安全面からぜひとも各種点検などにご協力をお願い申し上げます。